



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社加藤製作所 上場取引所 東  
コード番号 6390 URL <http://www.kato-works.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 公康  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務統括部長 (氏名) 柳原 秀匡 (TEL) 03-3458-1130  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月11日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	29,568	13.0	800	165.6	1,604	60.5	2,521	164.6
2023年3月期第2四半期	26,171	△15.5	301	—	999	—	953	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,364百万円( 80.1%) 2023年3月期第2四半期 1,867百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	215.22	—
2023年3月期第2四半期	81.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	98,731	49,918	49.3
2023年3月期	98,799	46,906	46.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 48,679百万円 2023年3月期 45,689百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	4.3	1,200	△4.7	900	△51.8	2,000	△16.8	170.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	11,743,587株	2023年3月期	11,743,587株
2024年3月期2Q	26,657株	2023年3月期	26,508株
2024年3月期2Q	11,717,026株	2023年3月期2Q	11,717,169株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料5ページ「1. 当四半期に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、資源価格の高騰や物価高に加え、世界的な金融引き締めの影響は見られたものの、経済活動の正常化を背景に緩やかに景気回復の動きが続きました。

一方で、欧米諸国では、インフレ抑制を目的とした金融引き締めの継続に加え、中国では、不動産市況の悪化を起因とした景気の低迷は継続しており、日本を取り巻く世界経済は不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、前期から推進している3ヵ年の中期経営計画のテーマである「スリムで骨太の体質への変革」のもと、基本方針として掲げた「収益性改善・強化」「財務体質の改善」「将来の基盤構築」の各施策に取り組んでおります。2023年5月12日に公表しました主力製品における一部主要部品の供給制限は期初から解消されていないものの、弾力的な生産・販売施策を講じることで収益の確保を推し進めてまいりました。

結果として当第2四半期連結累計期間の売上高は295億6千8百万円(前年同期比113.0%)となりました。損益につきましては、営業利益は8億円(前年同期比265.6%)、経常利益は16億4百万円(前年同期比160.5%)となりました。また、2023年2月13日に公表しました連結子会社KATO WORKS (THAILAND) CO., LTD. の会社解散及び清算に伴う固定資産(土地及び主要建設物)の譲渡により特別利益に固定資産売却益12億5千5百万円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億2千1百万円(前年同期比264.6%)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前第2四半期連結累計期間との比較分析にあたっては、変更後のセグメント区分に基づく数値を用いております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

#### ① 日本

国内向け建設用クレーンは、緩やかな景気回復基調に伴い需要が堅調に推移し、売上高は156億8千2百万円(前年同期比109.9%)となりました。海外向け建設用クレーンの売上高は営業力強化により24億4百万円(前年同期比147.1%)となりました。

国内向け油圧ショベル等の売上高は、競争激化により39億5千万円(前年同期比94.8%)となりました。海外向け油圧ショベル等の売上高は主として米州市場の好調および為替影響もあり、38億5千3百万円(前年同期比137.8%)となりました。

以上を含めた日本の売上高は262億5千1百万円(前年同期比112.2%)となり、セグメント利益は13億3千6百万円(前年同期比239.5%)となりました。

#### ② 中国

中国においては厳しい販売環境が継続しており、売上高は11億1千6百万円(前年同期比103.3%)となり、セグメント損失は6億9百万円(前年同期はセグメント損失3億5千万円)となりました。

#### ③ 欧州

欧州においては、売上高は28億7千2百万円(前年同期比116.8%)となり、セグメント利益は6千万円(前年同期比146.3%)となりました。

#### ④ その他

その他地域は、欧州セグメントを分離した変更により売上高は0となり、セグメント損失は4千7百万円(前年同期はセグメント損失5千5百万円)となりました。

主要品目別売上高の状況は次のとおりであります。

① 建設用クレーン

国内売上高は156億8千2百万円(前年同期比109.9%)となりました。海外売上高は25億2千5百万円(前年同期比142.5%)となり、建設用クレーンの売上高は182億7百万円(前年同期比113.5%)となりました。

② 油圧ショベル等

国内売上高は39億5千万円(前年同期比94.8%)となりました。海外売上高は70億4千9百万円(前年同期比129.8%)となり、油圧ショベル等の売上高は109億9千9百万円(前年同期比114.6%)となりました。

③ その他

上記を除いたその他の売上高は3億6千1百万円(前年同期比69.0%)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

## (資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末の987億9千9百万円に比べ6千8百万円減少し、987億3千1百万円となりました。これは主として、棚卸資産の増加8億2千7百万円とタイ子会社の土地の売却による減少5億9千4百万円、受取手形及び売掛金の減少2億3千5百万円によるものであります。

## (負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末の518億9千3百万円に比べ30億8千万円減少し、488億1千2百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少44億9千6百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加8億1千1百万円、電子記録債務の増加6億4千1百万円によるものであります。

## (純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末の469億6百万円に比べ30億1千2百万円増加し、499億1千8百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加21億7千万円と為替換算調整勘定の増加7億5千7百万円によるものであります。

## キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は197億6千7百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億1千万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、28億5千4百万円の増加(前年同期は37億6千5百万円の増加)となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益28億5千9百万円、売上債権の減少10億9百万円、減価償却費6億9千6百万円の増加要因と有形固定資産売却損益12億5千5百万円、棚卸資産の増加2億4千万円の減少要因によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、14億2千6百万円の増加(前年同期は1千9百万円の減少)となりました。その主な要因は、有形固定資産の売却による収入19億4千2百万円の増加要因と有形固定資産の取得による支出2億9千7百万円、定期預金の預入による支出2億円、無形固定資産の取得による支出1億4百万円の減少要因によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、46億5千4百万円の減少(前年同期は29億6千9百万円の減少)となりました。その主な要因は、長期借入金の返済による支出36億9千1百万円、配当金の支払額3億5千万円、社債の償還による支出2億6千2百万円、短期借入金の純減少額2億6百万円の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました、2024年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

今後、国内においては、経済活動の正常化がより一層進み、建設機械の需要も堅調に推移するものと想定しております。海外においては、欧州・北米での金融引き締めに対する懸念は残るものの、同地域での建設機械の需要は相応に期待できる一方、中国では、景気減速もあり厳しい事業環境が今後も継続するものと見込んでおります。

また、足元では、欧米と日本における金融政策の違いによる為替変動が大きく、鋼材価格やエネルギー価格を始めとする原材料の高止まり、ウクライナ情勢の長期化など、不透明な事業環境が継続しております。

当社グループでは、厳しい事業環境下でも安定した業績を積み上げるために、中期経営計画で掲げた施策を継続し取り組みつつ、将来への飛躍に向けた新製品開発や建設需要が旺盛なアジア地域での販路拡大などの検討を進めてまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,977	19,967
受取手形及び売掛金	25,060	24,824
棚卸資産	31,583	32,410
その他	1,399	1,592
貸倒引当金	△2,348	△2,634
流動資産合計	75,672	76,160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,995	9,729
機械装置及び運搬具（純額）	2,006	1,854
土地	6,186	5,592
建設仮勘定	43	179
その他（純額）	899	930
有形固定資産合計	19,131	18,286
無形固定資産		
	414	491
投資その他の資産		
投資有価証券	2,274	2,427
破産更生債権等	9,554	10,082
繰延税金資産	350	295
その他	954	1,069
貸倒引当金	△9,553	△10,081
投資その他の資産合計	3,580	3,792
固定資産合計	23,126	22,570
資産合計	98,799	98,731

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,425	5,284
電子記録債務	8,517	9,159
短期借入金	9,850	10,036
1年内償還予定の社債	524	524
1年内返済予定の長期借入金	7,826	8,637
未払法人税等	121	355
賞与引当金	570	566
製品保証引当金	959	869
その他	1,865	2,082
流動負債合計	35,660	37,514
固定負債		
社債	2,564	2,302
長期借入金	12,232	7,735
退職給付に係る負債	300	278
繰延税金負債	324	304
その他	811	677
固定負債合計	16,232	11,297
負債合計	51,893	48,812
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	30,781	32,952
自己株式	△39	△39
株主資本合計	40,788	42,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	116
為替換算調整勘定	4,810	5,568
退職給付に係る調整累計額	27	36
その他の包括利益累計額合計	4,901	5,720
非支配株主持分	1,216	1,239
純資産合計	46,906	49,918
負債純資産合計	98,799	98,731

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	26,171	29,568
売上原価	22,061	24,458
売上総利益	4,109	5,109
販売費及び一般管理費	3,808	4,309
営業利益	301	800
営業外収益		
受取利息	20	18
割賦販売受取利息	20	19
受取配当金	110	17
持分法による投資利益	7	69
為替差益	622	520
受取賃貸料	120	226
製品保証引当金戻入額	34	95
その他	110	201
営業外収益合計	1,045	1,167
営業外費用		
賃貸費用	152	189
支払利息	160	166
その他	34	7
営業外費用合計	347	363
経常利益	999	1,604
固定資産売却益	-	1,255
特別利益合計	-	1,255
税金等調整前四半期純利益	999	2,859
法人税、住民税及び事業税	62	304
法人税等調整額	△9	68
法人税等合計	53	372
四半期純利益	946	2,486
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	△35
親会社株主に帰属する四半期純利益	953	2,521

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	946	2,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	51
為替換算調整勘定	897	815
退職給付に係る調整額	22	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	920	877
四半期包括利益	1,867	3,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,733	3,341
非支配株主に係る四半期包括利益	134	22

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	999	2,859
減価償却費	806	696
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17	145
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△33	△27
受取利息及び受取配当金	△130	△35
受取賃貸料	△120	△226
支払利息	160	166
賃貸費用	112	153
為替差損益(△は益)	△60	△5
持分法による投資損益(△は益)	△7	△69
割賦販売前受利息の増減額(△は減少)	3	△7
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△1,255
売上債権の増減額(△は増加)	3,730	1,009
破産更生債権等の増減額(△は増加)	103	△13
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,097	△240
仕入債務の増減額(△は減少)	1,858	50
前受金の増減額(△は減少)	247	23
前渡金の増減額(△は増加)	△7	2
未払費用の増減額(△は減少)	△235	82
未収消費税等の増減額(△は増加)	△199	△76
未払消費税等の増減額(△は減少)	△226	△5
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△404	-
その他	△578	△102
小計	3,937	3,123
利息及び配当金の受取額	115	36
利息の支払額	△181	△167
法人税等の支払額	△105	△137
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,765	2,854
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資不動産の賃貸による収入	114	238
投資不動産の賃貸による支出	△112	△153
有形固定資産の取得による支出	△52	△297
有形固定資産の売却による収入	46	1,942
無形固定資産の取得による支出	△32	△104
定期預金の預入による支出	-	△200
その他	18	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19	1,426

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△189	△206
長期借入金の返済による支出	△2,223	△3,691
社債の償還による支出	△262	△262
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△118	△350
割賦債務の返済による支出	△151	△128
その他	△25	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,969	△4,654
現金及び現金同等物に係る換算差額	182	163
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	959	△210
現金及び現金同等物の期首残高	18,669	19,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,628	19,767

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	中国	欧州	その他 (注)1			
売上高							
建設用クレーン	15,909	—	—	137	16,047	—	16,047
油圧ショベル等	6,133	1,078	2,388	—	9,600	—	9,600
その他	523	—	—	—	523	—	523
顧客との契約から生じる収益	22,566	1,078	2,388	137	26,171	—	26,171
外部顧客への売上高	22,566	1,078	2,388	137	26,171	—	26,171
セグメント間の内部 売上高又は振替高	831	2	71	14	920	△920	—
計	23,398	1,081	2,460	152	27,092	△920	26,171
セグメント利益又は セグメント損失(△)	558	△350	41	△55	194	106	301

(注) 1 タイ、アメリカを含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去110百万円及びセグメント間未実現利益消去△3百万円が含まれております。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	日本	中国	欧州 (注)1	その他 (注)2			
売上高							
建設用クレーン	18,086	—	121	—	18,207	—	18,207
油圧ショベル等	7,157	1,110	2,731	—	10,999	—	10,999
その他	361	—	—	—	361	—	361
顧客との契約から生じる収益	25,605	1,110	2,852	—	29,568	—	29,568
外部顧客への売上高	25,605	1,110	2,852	—	29,568	—	29,568
セグメント間の内部 売上高又は振替高	646	5	19	—	671	△671	—
計	26,251	1,116	2,872	—	30,240	△671	29,568
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,336	△609	60	△47	740	60	800

- (注) 1 第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「欧州」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法へ変更しております。前第2四半期連結累計期間の「顧客との契約から生じる収益を分解した情報」は、変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。
- 2 タイ、アメリカを含んでおります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去78百万円及びセグメント間未実現利益消去△18百万円が含まれております。
- 4 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。